

本会記事

2024 年度春季大会に向けて

2024 年度春季大会は 2019 年以來 5 年ぶりに東京工業大学すずかけ台キャンパスにて開催されます。今回は講演特集として①磁性材料・磁気デバイスにおける微細構造制御と機能発現、②外場効果を利用した新たな創製技術と機能発現、③バイオインスパイアード材料、④各種粉末の焼結技術および焼結機構の新たな展開、⑤イオン伝導性材料の新展開、⑥遷移金属化合物：新物質・新材料の合成と物性、⑦傾斜機能材料の先端研究と今後の展望、⑧金属ガラス・ナノ結晶材料および高エントロピー合金の基礎と応用に関する新たな展開の 8 テーマ、一般講演として積層造形と硬質材料を予定しております。講演件数は特別講演 5 件、招待講演 16 件、受賞記念講演 7 件を含む合計 153 件となっており、昨年の春季大会よりも講演数が 20 件ほど増えました。会員の皆様には多くの講演のお申し込みを頂き、心より御礼申し上げます。

大会初日の 21 日の午後は恒例となっている日本粉末冶金工業会賞受賞記念特別セッションとその後に総会と懇親会が開催されます。22 日には初の試みとなる「若手フォーラム」を開催します。現在、当会では分科会組織の再編に取り組んでおり、どちらの学協会でも若手研究者の学協会活動への参画が大きな課題となっているところですが、今回の「若手フォーラム」はランチタイムにご自身の研究や協会に望むことなどについて、ざっくばらんに話をして頂こうと思っております。（お弁当協会提供）改めてご案内をさせていただきますが、大会に参加予定の若手研究者の方や学生さんは是非ご参加ください。

このほか、機器展示につきましては 3 日間通して開催いたします。詳細につきましては春季大会 Web サイトをご覧ください。皆様の多くのご参加をお待ちしております。

さて、今回は大会前のご案内として東京工業大学すずかけ台キャンパス近くをご紹介します。

○高尾山（東急田園都市線すずかけ台駅より徒歩 20 分）

高尾山と聞くと八王子の高尾山をイメージされる方が多いと思いますが、すずかけ台キャンパスの近くにも高尾山があります。標高が 100.46 m あり、横浜市緑区で一番高い地点です。見晴らしが良いことから明治 16 年に一等三角点が設置されており、現在でも横浜市で唯一のものになります。

畑に囲まれた丘のような山頂には江戸時代から飯縄（いづな）神社があり、こちらは八王子市にある高尾山薬王院の飯縄大権現を勧請したものと伝えられているそうです。今は神社の後ろに東京工業大学の校舎が建っているため山の高さはあまり感じられませんが、南西方向の眺望がよく、特に冬場の富士山や丹沢山地の眺めは美しい風景として親しまれています。会場から歩いて行けますので、お時間のある方は休憩がてら訪れてみてください。

○スヌーピーミュージアム（東急田園都市線南町田グランベリーパーク駅下車徒歩 4 分、当日 2,000 円）

1950 年からアメリカの新聞で連載が始まったチャーリー・ブラウンとその愛犬“スヌーピー”を中心とした 4 コマ漫画「PEANUTS」は世界中で愛され、日本でも大変人気があります。作者の C・M・シュルツ氏が 2000 年に亡くなる直前まで 50 年にわたって描き続けられた作品数は 17,879 点、世界中の 2,000 以上の雑誌に掲載されたほか、コミックスの発行部数も 4 億部を超えており、今なおファンが増え続けています。

こちらのミュージアムは、アメリカのカリフォルニア州にあるシュルツ美術館の世界で唯一の分館として期間限定で六本木にオープンしていたものが 2019 年に南町田に移転し、2024 年 2 月にリニューアルオープンしました。6 つの展示室があり、創作の歴史や複製原画やヴィンテージグッズの展示、スライドショーなど様々なスヌーピーと仲間たちの姿が楽しめるようになっています。

現在は「旅するピーナッツ」という企画展が開催されており、シュルツ美術館が所蔵する貴重な原画が公開されています。また、ここでしか買えないミュージアムグッズのお店やスヌーピーたちをモチーフにしたスイーツ、パスタやサンドイッチなどの軽食を味わうことができる「PEANUTS Cafe」も併設されており、スヌーピー好きにはたまらない施設です。

（土居 和巳）

